



いちよう

令和5年1月27日
熊本市立健軍東小学校
校長 吉田 高広

きびしい寒さが続きます

このところの大寒波により、厳しい寒さが続いています。しかしながら新型コロナウイルスの感染者は、次第に減少傾向となり、全体的にも落ち着いてきた印象があります。体調を整えて、コロナ・インフルエンザにかからない抵抗力を身につけておきたいものです。

早くも1月も末になり、どの学年も「学年末モード」として、学習のまとめの時期に差しかかってまいりました。次年度への準備も兼ねて、見通しを立てて過ごしていきましょう。

幼保小中連携の日

25日(水)は、東町中学校、東町小学校、東町中校区幼稚園や保育園の先生方が健軍東小学校に来られ、授業参観と、意見交換・情報交換会を行いました。前日からの寒さにより、「実施できるのだろうか」という心配はしましたが、何とか予定通り実施することができました。

「幼保小中連携の日」は、中学校校区内の職員相互で、同じ方向を向いて適切な児童生徒の指導・支援に当たることや、職員の資質・指導力向上を目指すことを目的としている取組です。学習面や生活面で、中学校を卒業する時点で目指す姿に近づけるよう、各部会で取組について、児童生徒の様子について協議し、指導支援に活かしていこうというものです。本校の子どもたちは、東町中学校や東町小学校の先生方に授業を見てもらえることがうれしいような表情を浮かべながら授業を受ける様子が印象的でした。

各分科会では、各校・園から奨励点や課題などが出されたようです。まだ完全にまとまっていない段階ですので、きちんとしたものは出せませんが、下記のようなことが話題に上がっていたようです。

- ・一人一台タブレットについて、授業の中で積極的に活用されていて、児童・生徒はかなり使いこなしているようではあるが、家庭において動画やゲームに使うなどして、データ通信量がかなり高い数値を示している子どもは心配である。健康面(眼・睡眠不足等)や、学習面への影響(家庭学習時間の減少による学力低下)などが心配である。この校区内でのルール作りなどが必要ではないか。

- ・ノーメディアチャレンジの取組は、「また実施してほしい」という声が多くあった。参加した児童・家庭からは好評であった。

- ・あいさつ運動を実施している。かなり効果があがっていると感じる児童生徒と、そうでない児童生徒の差がある。また、授業中の返事や受け答えが、大きくはつきりできない子どもを高めていく必要を感じる。

DOSA SCHOOL による運動遊び指導

1月26日(木)5校時、DOSA SCHOOL による運動遊び指導が5年2組児童を対象に行われました。

DOSA SCHOOL というのは、「一般社団法人スポーツ能力発見協会」のもつ、教育委員会・学校・家庭をつなぐ、学校体力テストデータの集計分析システムです。熊本市では本年度からこのシステムによる体力テスト集計・分析・事後の取組を行っています。児童のタブレットにその結果が反映され、各個人の結果に応じた体力の高等が見られるようになっているものです。今回は、DOSA SCHOOL のスタッフによる運動遊び指導が熊本市内数校で行われる旨の連絡が市教委にあったため、本校もそれに応募し、今回の実施に至りました。当日担当されたスタッフの方が「体力を高めるために必要なことは、たくさん遊ぶことです。」と言われ、そのための遊びをいくつか紹介され、子どもたちは嬉々として元気いっぱい活動に取り組みました。

- ① ツイスト走（短距離走が速くなる）その場駆け足（短距離走が速くなる）
- ② クマ歩き（よつんばいで膝を床につけずに歩く・走る）
- ③ とおせんぼ（鬼のタッチをよけながら目的地に向かう鬼ごっこ）
- ④ お宝取り（とおせんぼの要領で先にあるお宝[マーカー]を数多くとる鬼ごっこ）



こういった遊びを通して、運動に必要な能力や筋力が高ま

っていきます。子どもたちは、体力を高めるには「鍛錬」「練習」というような、イメージを持っているようですが、紹介されたような遊びや動きを、「せいいっぱい楽しみながら行うことで、気が付いたら体力が高まっていた」というのが理想的です。学校でもしっかり広めていきたいものです。

命の大切さを考える講演会(助産師の方による講演会)

1月26日(木)に、6年生を対象として、助産師の西村さん・田中さんをお迎えしての「命の大切さを考える講演会」が行われました。0.1ミリの命の始まり、おなかの中でのエコー写真・動画、骨盤・胎盤・赤ちゃんの模型を使っの赤ちゃんの誕生のお話等を分かりやすくお話しくださいました。赤ちゃん誕生のところでは、赤ちゃんが、「どうやって出てきたらおなかからうまく外に出られるか」を赤ちゃんが自分自身で考えながらでてくるんだよ、というお話もしてくださいました。



一人一人が大切にされて成長したこと、相手を大切にすること、コミュニケーションの取り方や方法等について、丁寧に教えてくださいました。

子どもたちは、心をフル稼働させるかのように、真剣に聞いていました。感想発表では、「きつくて痛いなどの大変な思いをして自分を生んでくれたお母さんに『ありがとう』と言いたいです。」や、「自分が生まれてくるときに、しっかり考えて生まれてきたんだということを知り、自分に自信ができました。」などの素晴らしい感想を聞かせてくれました。それらの感想を聞いた助産師のお二人も心から感激しておられました。このようなお話を聞いたり、体験をすることで、命の大切さを感じたり、自己肯定感を高めたりしていくんだな、ということを感じさせてくれる一場面でした。

行事予定 1/30(月)～2/10(金)

- 30日(月) 校内研修 31日(火) 3, 4年サッカー巡回指導④ (1/27 延期分)
- 1日(水) フッ化物洗口 ALT 来校 学校集会 (人権旬間について)
- 2日(木) 拠点校指導員来校 3日(金) 授業参観 (②低学年 ③高学年)
- 6日(月) 人権旬間 (~17日) 校内研修 7日(火) 委員会 ALT 来校
- 8日(水) フッ化物洗口 小学校授業研究会一斉開催
- 9日(木) 拠点校指導員来校 新入生保護者説明会 きずな夕会